

ごみ減量等に関するアンケート調査票

問1 ごみの減量や処理などについてどの程度満足していますか？

(1)ごみの収集(収集回数や分別等) (1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満がある | 4. 不満がある |
| 5. わからない | |

(2)ごみの減量や処理についての小平市からの情報公開・提供 (1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満がある | 4. 不満がある |
| 5. わからない | |

(3)ごみの減量や処理への小平市の取り組み (1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満がある | 4. 不満がある |
| 5. わからない | |

(4)住んでいる地域の清潔さ (1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満がある | 4. 不満がある |
| 5. わからない | |

問2 ごみの減量や処理についての情報・知識を得る方法として、あてはまるものをお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 新聞・テレビ | |
| 2. 雑誌・本 | |
| 3. 市のホームページ | |
| 4. 市のホームページ以外のインターネット | |
| 5. 市の広報紙(市報など) | |
| 6. 都の広報紙 | |
| 7. ごみ情報紙「ごみらいふ」(小平市ごみ減量推進実行委員会発行) | |
| 8. ごみ情報紙「えんとつ」(小平・村山・大和衛生組合発行) | |
| 9. ごみ情報誌「たまエコニュース」(東京たま広域資源循環組合発行) | |
| 10. 市などの公共機関が主催する説明会やごみ・リサイクル施設の見学会 | |
| 11. 民間団体が主催するセミナーや勉強会 | |
| 12. 近所の人、町会・自治会の人、友人、お店など | |
| 13. マンションの管理人など | |
| 14. 町会・自治会やマンションの掲示板 | |
| 15. 職場や学校 | |
| 16. その他【具体的に | 】 |
| 17. 特にない | |

問3 ふだんのごみの出し方についておうかがいします。次の物は、ふだんどのように出していますか？
(それぞれの品目について、最も多い出し方の欄1つに○)

品目	出しない	堆肥化・庭に埋めるなど 自家処理	町会・自治会などの集団回収	販売店の回収 (新聞のちり紙交換を含む)	公共施設の回収ボックス	スーパー店頭回収ボックス	集合住宅の保管場所に資源として分別して出している	市の資源収集	市のごみ収集 (燃えるごみ・燃えないごみ)	その他(具体的に)
1. ペットボトル										()
2. 白色トレイ										()
3. 色付きトレイ										()
4. 牛乳パック										()
5. 新聞・折込広告										()
6. 雑誌										()
7. 雑がみ(注1参照)										()
7. ビールびん										()
8. その他のビン										()
9. カン										()
10. 生ごみ(注2参照)										()
11. 自宅で切った枝木										()

注1 「雑がみ」とは、包装紙、紙箱、紙箱、コピー用紙など、名刺より大きいリサイクルできる紙のことです。
 注2 生ごみの市の資源収集とは「食物資源循環モデル事業」のことです。

問4ごみの発生抑制についておうかがいします。

廃棄物の発生抑制(リデュース(Reduce))とは、資源を大切にするため、ごみはもちろん、資源になるものでも、すぐに不用になるものはなるべく発生させないことです。

(1)下の項目のなかで、ふだん実践されていることはありますか？(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を買うようにしている 2. 使い捨てではなく、できるだけ繰り返し使える商品を選ぶようにしている 3. 商品を選ぶときには、容器や包装が少ないものを選ぶようにしている 4. 買い物袋(マイバッグ)を持参するなど、不要な包装は断るようになっている 5. ばら売りやはかり売りの商品を買うようにしている 6. 食べ物の調理くずや食べ残しはなるべく出さないようにしている 7. 買いだめしないなど、使いきれぬ量を購入するようにしている 8. 無料でも、必要のないもの(景品など)はもらわないようにしている 9. 特に実践していることはない 10. その他【具体的に | 】 |
|---|---|

(2)日用品や食料品など、日常的に使う商品について、何を基準に買いますか？(○はいくつでも)

1. 値段が安い・お得感がある (3個パックなど)
2. 商品や容器のデザインが目立ち趣味にあう (好みにあう写真付きなど)
3. 使い勝手がよさそう・おいしそう (手ごろな大きさ、産地が明記など)
4. 安全そう、健康によさそう (産地が明記されている、低カロリーなど)
5. ごみにならなそう、リサイクルできそう (容器が小さい、包装が簡易、省エネなど)
6. メーカーやブランド力がある
7. その他【具体的に

】

(3)無料で配布されるレジ袋について、どのように感じていますか？(○はいくつでも)

1. 必要がないのに渡されることが多い
2. ただでもらえると買い物には便利である
3. 断ろうと思っても断れないことがある
4. 不必要な場合は「いりません」と断る
5. ごみ袋として利用しているので必要性が高い
6. 使いきれず、そのままごみにすることが多い
7. 買い物袋 (マイバッグ) を持ち歩くのは困難
8. レジ袋がないと万引きと間違えられそう・万引きが増えそう
9. その他【具体的に

】

(4)商品の容器や包装について、どのように感じていますか？(1つに○)

1. 過剰なものが多い
2. 過剰なものもある
3. 現状の容器・包装は必要なものであり、過剰とは思わない
4. その他【具体的に

】

問5 再使用についておうかがいします。

再使用 (リユース (Reuse)) とは、資源を大切に使い、ごみを減量するため、資源としての再生利用 (リサイクル) とは別に、物の使い回しなどを行うことです。

下の項目のなかで、ふだん実践していることはありますか？(○はいくつでも)

1. 不用品を知り合いにあげたり、もらったりしている。
2. バザー・フリーマーケットを利用している
3. リサイクルショップを利用している
4. 牛乳の宅配を利用し、びんなどの容器は返却している
5. 不用品交換制度 (「譲ります・譲ってください」) を利用している
6. 短期間だけ必要なものはレンタル (貸し出し) サービスを利用している
7. 古本店を利用している
8. 繰り返し使えるボトルを購入して、スーパー等での浄水サービスを利用している
9. その他【具体的に
10. 特にない

】

問6 再生利用についておうかがいします。

再生利用(リサイクル(Recycle))とは、物をいったん原材料に戻して再利用することです。

(1)下のなかで、どのような資源再生品を購入していますか？(○はいくつでも)

1. トイレットペーパーはパルプ 100%より古紙配合品を選ぶ
2. ティッシュペーパーはパルプ 100%より古紙配合品を選ぶ
3. ノートやコピー用紙などの紙類はできるだけ古紙配合品を選ぶ
4. ワイシャツや作業服など、ペットボトルからの再生品を選ぶ
5. ボールペンやペンケースなどの文房具は、ペットボトルからの再生品を選ぶ
6. その他再生品を購入したことがある【具体的
7. 特に意識して購入しているものはない

(2)集団回収への参加についておうかがいします。(1つに○)

集団回収とは、地域の家庭から出される新聞・雑誌・段ボール・ビン・カン等の資源物を町会、自治会、子供会などの地域団体が一定の日時や場所に集めて、資源回収業者に引き渡す自主的なりサイクル活動のことです。市ではこうした活動がごみ減量、リサイクル推進につながることから、その回収量に応じて補助金を交付しています。補助金は地域団体の活動資金として役立てられています。

1. 集団回収に参加している → 問7へ
2. 集団回収に参加していない → (3)へ

(3)集団回収に参加していない理由はなんですか？(1つに○)

1. 住んでいる地域では集団回収は行われていない
2. 場所や日時が限られているため参加できない
3. 資源物の管理はマンションの管理人などが行っており、よくわからない
4. 集団回収について知らなかった
5. その他【具体的に

問7 生ごみの減量やリサイクルについておうかがいします。

生ごみは、燃えるごみの4割以上を占め、その減量やリサイクルは、今後のごみの総量の抑制やリサイクルの推進、ごみ処理の体制に大きな影響を持つものです。市では、家庭からの生ごみの自家処理やリサイクルを促進するため、生ごみ処理機の購入助成や、食物資源循環モデル事業に取り組んでいます。

(1)生ごみの減量に関して、ふだん実践していることはありますか？(○はいくつでも)

1. 三角コーナーなどを使い、自然に水切りしてから出している
2. 生ごみを絞るなどして、水切りしてから出している
3. 食品や食材を買うときに、必要な量だけを買うようにしている
4. 生ごみを出さないような調理の工夫をしている(食べ切れる量だけつくるなど)
5. 食べ切れなかった料理は、捨てずに冷凍するなどして、食べ切るようにしている
6. 飲食店ではご飯の量を調整してもらうなど、食べ残しがないようにしている
7. その他【具体的に
8. 特になし

(2)ご家庭では、生ごみの自家処理やリサイクルを行っていますか？(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 行っている | → (3) へ |
| 2. 行ったことはない | → (4) へ |
| 3. 以前は行っていたが、やめた | → (4) へ |

(3)ご家庭で行っている生ごみの自家処理やリサイクルはなんですか？(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 堆肥化容器を使っている | |
| 2. 生ごみ処理機を使っている | |
| 3. 市の「食物資源循環モデル事業」に参加している | |
| 4. 庭や畑に埋めている | |
| 5. その他【具体的に | 】 |

(4)ご家庭で生ごみの自家処理やリサイクルを行っていない理由はなんですか？(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 特に理由はない | |
| 2. 集合住宅だから | |
| 3. 生ごみを分別することに手間がかかるから | |
| 4. 堆肥をつくっても使い道がないから | |
| 5. 堆肥がうまくできないと思うから | |
| 6. 虫などが発生すると思うから | |
| 7. 生ごみを自家処理やリサイクルすることに意義を感じないから | |
| 8. その他【具体的に | 】 |

問8 プラスチック容器の減量とリサイクルについておうかがいします。

プラスチック容器（商品を包む包装や入れ物）には、硬いもの（ボトル、卵のパック、ヨーグルトのカップ、弁当ガラなど）とやわらかいもの（お菓子の袋やレジ袋など）があります。小平市では、きれいで硬いものだけを「プラスチック容器」としてリサイクルし、やわらかいものは「燃えるごみ」として処理しています。

多摩地域では、多くの市でやわらかいものを含めたプラスチック容器のリサイクルを実施しており、小平市でも実施を検討していますが、リサイクルするためには処理施設の整備などが必要です。

(1)現在の「プラスチック容器」の分別収集にご協力をいただいていますか？(1つに○)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 資源物として分別して出している | → (2) (3) へ |
| 2. 燃えるごみや燃えないごみとして出している。 | → (3) へ |

(2)現在の「プラスチック容器」の分別収集についてどう思いますか？(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. リサイクルできるものとできないものの判断に迷う | |
| 2. リサイクルできるものとできないものの分別が面倒である | |
| 3. 特に問題はない | |
| 4. その他【具体的に | 】 |

(3)やわらかいものを含めたプラスチック容器を分別収集することについてどう思いますか？

(1つに○)

1. やわらかいものを含めたプラスチック容器を分別収集すべきである 2. 現状の「プラスチック容器」の分別収集で十分である 3. よくわからない 4. その他【具体的に]
---	---

問9 ごみと資源物の収集についておうかがいします。

(1)次のごみ・資源物の区分ごとに、必要な収集頻度(回数)は、どれだと思えますか？

(それぞれ1つの欄に○)

現在、小平市では、市内を東西の2地区にわけて、燃えるごみを週2回、燃えないごみ、紙類などの可燃性資源、ビン、カン、ペットボトルなどの不燃性資源、電池、蛍光灯などの有害性資源を、それぞれ週1回収集しています。

しかし、収集回数を減らすことができれば、収集車両が排出する排気ガスを減らすことができるとともに、経費の節約にもつながります。

多摩地域の他の市では、燃えないごみを月1回、資源物を月2回とする例などがあります。

ごみ・資源物の区分	収集頻度(回数)			
	週1回	月2回	月1回	その他
1. 燃えないごみ				()
2. 紙類(新聞紙・雑誌・雑がみ・段ボール)				()
3. 布類(古着・綿ふとん)				()
4. ビン				()
5. カン				()
6. ペットボトル				()
7. プラスチック容器				()
8. 有害性資源(電池・蛍光灯・水銀体温計など)				()

※「燃えるごみ」は、公衆衛生の観点から、原則として週2回の収集を維持することを考えています。

(2)ごみの戸別収集について、どう思いますか？(1つに○。理由もご記入ください。)

戸別収集とは、①戸建住宅の場合は、各家庭の道路際の敷地内から、②集合住宅の場合は、1棟ごとに敷地内の集積所から収集することをいいます。

戸別収集をすることで、経費の増加や、収集車両が排出する排気ガスの増加といったデメリットがありますが、市民一人ひとりに自分が出すごみに責任を持ってもらえるようになる、持ち出しの負担が減るため市民サービスが向上する、道路上の集積所がなくなることでまちの美観が向上するなどの効果があります。

1. 賛成【理由	】
2. 反対【理由	】
3. どちらともいえない・よくわからない	
4. その他【具体的に	】

(3)家庭ごみの有料化について、どう思いますか？(1つに○。理由もご記入ください。)

ごみの問題に対して排出する市民一人ひとりに関心を持ってもらうことなどにより、ごみを減量することを目的として、家庭ごみの有料化を導入し成果が上がっている自治体があります。

有料化の方法としては、指定ごみ袋で料金をいただくのが一般的で、多摩地域の場合、20リットルの袋の値段は1枚30~40円となっています。燃えるごみ・燃えないごみをあわせて毎週3袋を出すとすると、毎月の負担額はおよそ400~500円となります。

1. 賛成【理由	】
2. 反対【理由	】
3. どちらともいえない・よくわからない	
4. その他【具体的に	】

(4)分別がわからなくて困っているものはありますか？

(5)ごみに捨てられなくて困っているものはありますか？

問10 ご家庭で取り組んでいるごみの減量やリサイクルについての工夫がありましたら、ご記入ください。

問11 ごみ処理やリサイクルについて、市に取り組んでほしいことや、ご意見がありましたらご記入ください。

問12 最後に、ご自身とご家族についておうかがいします。お差し支えなければ、それぞれあてはまるものに○を1つつけてください。

性別 ① 男性 ② 女性

年齢 ① 20代 ② 30代 ③ 40代
④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代以上

職業 ① 自営業
② 給与所得者（会社員、公務員）
③ パート・アルバイト（学生除く）
④ 学生
⑤ 専業主婦・主夫
⑥ その他【具体的に _____】

家族人数（ご本人を含みます）

① 1人（1人暮らし） ② 2人 ③ 3人
④ 4人 ⑤ 5人以上

居住形態 ① 戸建て
② 2階建てまでの集合住宅（アパート・長屋建てを含む）
③ 3階建て以上の集合住宅
④ その他【具体的に _____】

居住年数 ① 1年未満 ② 5年未満 ③ 10年未満
④ 15年未満 ⑤ 20年以上

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。